

個人ばく露測定の義務化！準備はできていますか？

有機溶剤の作業環境測定における デザイン・サンプリング・法令対応の 実務ポイント総整理

《現場で迷わないための具体的手順と判断基準》

本セミナーは、実務に即した作業環境測定の習得を目的としています。

まず、労働安全衛生における「3管理」の基本から、作業環境測定の意義について整理します。あわせて、2026年10月に施行される個人ばく露測定の義務化についても紹介します。

有機溶剤の作業環境測定に関しては、測定計画の立て方、測定点・測定時間の設定、サンプリング方法、分析・評価の進め方、さらに結果報告や管理区分に応じた対策までを体系的に解説します。

実際の現場では、作業工程や換気条件によって濃度が瞬間的に変動するほか、同一工程であっても作業者ごとに作業方法や作業量が異なるため、測定デザインやサンプリングの難易度が高くなります。加えて、短時間の高濃度ばく露は平均値では見逃されやすく、適切なリスク評価には工夫が求められます。

本セミナーでは、こうした現場特有の変動要因を踏まえ、適切な測定デザインの立て方や効果的なサンプリング手法について、実務者の視点から解説します。さらに、個人ばく露測定の義務化（2026年10月施行）や、第3管理区分となった場合の対応（2022年施行）など、近年の法令対応のポイントについても具体的に説明します。

受講するメリット

- ✓ 作業環境測定（主に有機溶剤）のデザイン、サンプリングの具体的な方法が習得できる
- ✓ 令和8年10月に施行される個人ばく露測定の義務化について、法規制の内容と具体的な方法が習得できる



講師

山本 光一（やまもと こういち）講師

山本技術士・気象予報士事務所 代表

- 1981年4月 （株）ツムラ入社
茨城工場にて、主に品質管理、水質管理、化学物質管理を実施
- 2017年9月 （株）ツムラ 定年退職
- 2017年10月～2021年4月
施設・設備管理会社に勤務。公的研究機関の設備管理（主に排水処理施設の運転管理）に従事
- 2021年5月 技術士登録（上下水道部門） 山本技術士・気象予報士事務所で登録

有機溶剤の作業環境測定における デザイン・サンプリング・法令対応の実務ポイント総整理

1. 作業環境測定、個人ばく露測定とは

- (1) 労働安全衛生の3管理
- (2) 有機溶剤の作業環境測定
- (3) 個人サンプリング法
- (4) 個人ばく露測定と義務化

2. 作業環境測定の要点

- (1) 測定対象物質の確認
- (2) デザイン（測定範囲、測定点、測定点数の検討）
 - ・濃度変動要因
 - ・測定時間の決め方
 - ・作業点の決め方
- (3) サンプリング
 - ・瞬間的な高濃度を検出する工夫
- (4) 分析・評価（管理区分の決定）
 - ・結果解釈の事例（測定結果と手分析、機器分析の活用）
- (5) 結果の報告
- (6) 評価の報告後の実施事項
- (7) 第3管理区分になった場合の義務
- (8) 第3管理区分の作業場所に対する措置の強化

3. 作業場の対策方法

4. まとめ

質疑応答

セミナー概要

2026年 **9月24日(木)** 13:00~16:00

【Live配信】Zoomによるオンライン受講

【定員】定員無し

【受講料】27,000円（税別）（税込：29,700円）※1名

※開催日の1週間前を目安に、最少開催人数に達していない場合は開催中止とさせていただきます。

申込書

有機溶剤の作業環境測定におけるデザイン・サンプリング・法令対応の実務ポイント総整理

以下の事項をご記入の上、日本アイアール・セミナー事務局宛にFAXまたはメールでお申込みください。
（※当社ホームページからのお申込みも可能です。）

会社名		部署名	
住所			
お名前		電話番号	
メールアドレス		受講形態	Live配信

日本アイアール セミナー事務局

FAX：03-6206-9993

MAIL：ir@nihon-ir.co.jp

（TEL：03-6206-4966）